

月	教材名・指導目標	時	学習活動	観点	評価規準
4	オリエンテーション 表現することの楽しさ、 すばらしさを感じ取らせ る。 美術の授業では、独創性 が大切であることに気づ かせる。	2	○「美術の学習内容」と、「授業のきまり」等を確 認する。 ○作者の思いや、意図により、様々な表現方法が あることを知り、自分らしい表現について考え る。	関心	美術作品には、作者の思いや、意図により、 様々な表現方法があることを感じ取ること ができる。
5	デザイン「レタリング」 レタリングの基本を学ば せる。	3	○レタリングの基本を学ぶ。 ・明朝体と、ゴシック体を書く。	関心	文字のデザインの効果や、美しさについ て、関心をもつことができる。
6 7 9	デザイン「絵文字」 目的に応じて、形や色を 工夫させ、美しい文字を デザインさせる。 色彩の基本について学 び、今後の彩色に生かせ るようにさせる。	10	○デザインの基本を生かし、独創的な絵文字の形 を考える。 ○色彩の基本について学習する。 ・色の三要素について ・色の持つ性質について ○表現意図に合うような、配色の工夫をして彩色 する。	発想 創造 鑑賞	文字の特徴を生かして、自分の表現方法を 工夫してデザインすることができる。 レタリングの基本を理解し、表現方法を工 夫して絵文字を制作することができる。 デザインされた文字のよさや美しさを味わ い、伝えるための工夫などについて考える ことができる。

6	鑑賞「原始・古代の美術」 人間と造形物の関わり について、考えさせる。	2	○原始・古代の美術について関心を持ち、残された作品のもつ意味を考える。	鑑賞	原始・古代の美術を鑑賞し、その良さを感じとり、人間の表現する思いを理解することができる。
10	絵画：鉛筆デッサン 「野菜・果物を描く」	6	○野菜や果物を観察することを通して、その特徴やその美しさを感じ取る。	関心	野菜や果物をよく観察し、良さや美しさを感じ取ろうとすることができる。
11	彫塑「野菜・果物を立体で表わす」	12	○粘土を用いて、表現方法や、技法を工夫して野菜や果物を表現する。 ○質感の表現を工夫して、絵の具で彩色する。	発想 創造	ものの見方、感じ方を深め、生き生きとした表現で構想を練ることができる。 野菜・果物の特徴や美しさをとらえ、自分なりの表現を大切に表すことができる。
12	鑑賞 「パブロ・ピカソ」 パブロ・ピカソと、岡本太郎の作品のよさを味わい、作品の意味を考えさせる。	2	○パブロ・ピカソ」の生涯について知る。 ○ピカソの代表的な作品を鑑賞し、その背景にあるものを考える。 ○岡本太郎の作品を鑑賞し、作者の表現意図について考える。	鑑賞	パブロ・ピカソと、岡本太郎がもたらした独自の抽象表現を理解するとともに、作品の良さを味わい、美術史的な意味を理解することができる。
1 2 3	彫刻「壁飾り」 木の性質を理解させ、用具を適切に使って計画的に木彫作品を制作させる。	8	○木の特性について理解する。 ○木彫に適するデザインを考える。 ○木彫の基礎について学び、彫刻刀を安全に使って彫刻する。	関心 発想 創造	木に関心を持ち、その良さを生かして制作に取り組むことができる。 木彫に適したデザインを考えることができる。 材料や用具を適切に使って、安全に作業を進めることができる。